

1月号

伝笑

やるなら! やらねば!



2017年度 一般社団法人西大寺青年会議所 スローガン

伝笑～やるなら! やらねば!～

基本理念

- ・ 懸命なる取り組みにのみ 宿る笑顔伝えていく

基本方針

- ・ 笑顔あふれる青少年の健全育成
- ・ 地域の価値を創造する笑顔あふれるまちづくり
- ・ 笑顔あふれる拡大運動

はじめに

私たち一般社団法人西大寺青年会議所は本年度57年目を迎えます。昨年は42年ぶりに岡山ブロック協議会の会長を輩出し、OBの先輩をはじめ多くの方にご支援頂き無事1年を終えることができました。先ずはお支え頂きました皆様に心より感謝申し上げます次第です。この度頂いた貴重な経験や学んだ事をどのように活かしていくのか、まさに西大寺青年会議所として試される一年になると考えます。しかしながら、そのプレッシャーに負けることなく全国697青年会議所の中で、どこよりも楽しく笑顔をもって56年という伝統の重みをかみしめながら邁進していく所存です。

本年度スローガンの中にあります『笑』には様々なカタチがあるかと思いますが、笑いというのは感情の中で最も人を豊かにしてくれるものではないでしょうか。入会して7年となりますが、今日まで様々な笑顔を見て参りました。事業を通じ

2017年度 第57代理事長
小野 真人

得た地域の方の笑顔。ひたむきに取り組む事で得たメンバーの笑顔。支え応援して下さる先輩の笑顔。すべての笑顔の源となるのは一人一人が献身的に地域を想い一生懸命に取り組む姿勢だと考えます。懸命に取り組んでこそ健やかな笑顔が生み出され、伝えていくことが出来ると信じ、本年スローガンを『伝笑』と掲げました。

笑顔あふれる青少年の健全育成

2009年より犯罪の数は年々右肩下がりを見せてきているものの 様々な事件、事故、犯罪の多様化や弱者を狙った事件発生観点から治安の悪化を感じ、子どもたちを取り巻く教育環境も時代と共に変化してきており、少子高齢化も急速に進んでおります。それらを踏まえ西大寺青年会議所としても事業の方向性を見据え、こうした社会問題に対し他人事ではなく、若者が当事者として意識を高められるように青少年事業

のあり方を見直す時代を迎えたと考えます。近年日本全体で投票率の低下が問題視される中、若者の声を政治に反映することを目的に2016年7月より選挙権の引き下げが行われたことにより、若年層の政治参画が可能となりました。しかし、その投票率は県内では39,5%東区においては県内ワースト2位の39,2%と若年層の参画意識は芳しくありません。そこで投票率の低下は、幅広い年齢層での問題ではありますが本年は今後の地域の担い手となっていく若者にスポットをあて高校生を中心に政治へ参画する事の重要性を考える環境を構築し興味をもって取り組む事が出来るよう本年度、第3回目を迎えます『西大寺市民大学』において能動的市民の意識変革を行うことによりアクティブシチズンの醸成を目指します。その事により『自分達のまちは自分達の力で維持・発展させていくのだ』という気概をもった若者を育成出来るよう事業を展開して参ります。

また近年、目まぐるしく発達する文明においてインターネットやスマートフォンを活用し、情報を容易に得ることが出来るようになり個々で解決する力を身につけました。その結果『ながらスマホ』での事故や、SNSでの陰湿ないじめが出てくるなど便利になると同時に次なる問題が生まれて来ました。その発達するデジタルに勝ることが出来るのは人と人の密な繋がり、ふれあい、気遣い、思いやりだと考えます。よく『昔の機械は壊れにくい』と言われる。その一つに構造が単純だったから、という理由もあるでしょう。機能は少ないかもしれない、しかしデジタルにはない強さや温かみがアナログにはあるのです。

私たちの活動エリアである西大寺という地域には500年を超える伝統行事『西大寺会陽(さいだいじえよう)』がございます。厳寒の中その歴史は奈良時代より続くルールを守り、参加者は命をかけて『寶木(しんぎ)』を争奪します。そこには最新の道具なんてありません。己の身体一つで戦う、まさにアナログです。しかし、そこには時代が移り変わろうとも、存在し続ける事の出来る強さと温かみが溢れていると確信します。西大寺青年会議所を中心とした少年はだか祭り実行委員会が開催する事業として、本年度46回目を迎える『少年はだか祭り』を行うにあたり、今も昔も変わらぬ伝統文化に触れ、アナログの魅力を伝えることで地域に伝承されているお祭りを守り、また自分たちの暮らすまちや文化に対する想いを未来へ繋げていってもらえる、そんな郷土愛と笑顔あふれる青少年の育成を目指します。

地域の価値を創造する笑顔あふれるまちづくり

活気のある地域とは、企業が集まり個々が栄えその方たちが定住しその地域に魅力を感じる事が出来る、またその魅力を発信出来る地域であると考えます。

天平勝宝3年(751)金陵山西大寺観音院が建立されたことを機に門前町として栄え、酒・魚・餅・鑄物等、商人が店を

開いて繁栄してきたと伝わっています。それを象徴するように観音院を中心に五福通りなど歴史的な文化が守ってこられました。また近年では大型商業施設も建設され、大人数で集える場も出来ました。更に日本に誇れるロケーションの活用により、多くの映画ロケ地に選ばれるなど魅力あふれる地域であり、隣接する瀬戸内市においても自然を活かした豊富な名産品をはじめ、年間10,000人が来場する海水浴場や竹久夢二など歴史に名を残す偉人が数多く輩出されており、更に世界的にも有名な刀剣の産地として栄えた長船もあります。しかし、岡山市中心部に注目が集まる事が多くまだまだこの魅力は最大限に発信されていないのではないかと思います。

そこで地域資源の魅力を市民から自発的に発信されるよう、本年度ならではのスキームをもって事業を展開したいと考えます。地域に魅了された人々の笑顔を見て私も『見たい!聞きたい!』と共感され、他に広がるような笑顔でつながる催し物が東区や瀬戸内市で開催されたなら……。どこか遠くで感じる賑わいよりも、近くで感じるまちの笑顔。遠近各地より人が流れ、滞在人口が増していくまちの可能性。そんな自然な仕組みが創られ発展的に広がる未来を考えるだけでワクワクしてきます。

そして地域の更なる価値を創造するためにも、私たちの持ち得る情報のみに頼ることなく様々な機会に出会う地域の方や先輩方より地域の魅力発信につながる情報を収集します。これらを基にまちの元気の素となる笑顔を生み出し、地域の価値を創造して参ります。

笑顔あふれる拡大運動

人口減少や経済の悪化など様々な要因に伴い、会員拡大運動は全国の青年会議所で大きな課題となっております。一般的なイメージとして青年会議所に属するのは経営者であると思われている方が多いかと思いますが、近年ではサラリーマンの方や主婦の方も『まちのために役に立ちたい』という尊い思想の基入会される方が増えてきております。この事からも経営者のみならず幅広く青年会議所の運動を発信していく必要があると考えます。

地域に尽くす団体として運動を展開していく中、それぞれ事情がある中で家庭や仕事との両立を図り苦勞する事はあります。しかし誰かの役に立つ生き方をせず、自分の事だけしか考えなくなってしまったら、自分たちの地域を他人だけに負わせてしまって本当に良いものでしょうか。自分たちのまちで明るく生活していくためには、自分たちの手で自分たちだけでも出来ることを探していく必要があるはずで。そんな小さな一歩一歩の積み重ねが、やがて能動的に発展して行く地域の光となる事を信じ、私たちは青年会議所運動を行います。そして自らの団体の存在意義を深く掘り下げ、青年会議所における個々の尊い存在意義を再認識していくことを繰り返し、価値を高めていく事で拡大の運動は広がっていくと信じて同時

に、私たちの運動が一人でも多くの方に共感をして頂けるよう笑顔あふれる拡大運動を行います。

また青年会議所は『自己の成長』も大きな目的としており、地域の担い手として様々な研修や機会を通じて自己研鑽を積むことが出来ます。中でも人と人との繋がりが希薄になってきている現代において青年会議所という組織に属することで自律性、自主性が生まれ、一人では決して得られない多くの学びを得られます。本年度は一つ一つの事業において青年経済人を育てていくために本当の成長の機会を提供できているかを一年間通じて考え、実践を繰り返して参ります。

結びに

私が2011年に西大寺青年会議所の門を叩きはや7年となりました。

今日まで多くの出会いや別れがあり事業を通じ苦労した事、うれしかった事等、様々な事がありました。入会したばかりの頃『まちのため』や『地域の方々』に対する関心は薄いものであったと今振り返ってみるとそう思います。更に言えば、ボランティアを行なってくれている方々、地域のお祭り等を運営してくださる方々の気持ちなど考えたこともありませんでした。しかし、青年会議所に身を置き、時を重ねまちとの関わりが増えていくに従って、このまちはこの先どうなっていくのだろう。自分たちは何をしなくてはならないのだろう。自分の中で意識が変革されていく今まで感じた事がない感覚であったことを鮮明に記憶しています。そして高い志を持ち、楽しそうに能動的に取り組む姿こそが人の心を動かすのだと気づかせていただきました。

青年会議所は40歳を迎えると卒業となります。残り年数限られた時間の中で、持てる力をすべて使ってこの感動を伝えていきたい。心から楽しんでまちと関わっていただける地域の方を増やしてしていくために何が出来るのか。明るく豊かなまちの未来を創造して参ります。

どんな時も心からの笑顔をもって。

一年の抱負



副理事長
柴田 潤哉

2017年度、副理事長を務めさせていただきます柴田潤哉と申します。1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

本年度、小野理事長のスローガンにある「伝笑 やるなら!やらねば!」そして基本理念であります「~懸命なる取り組みにのみ 宿る笑顔伝えていく~」を実践するにあたり、まずは自分自身が行動をし、その姿を見せる事、また委員長をはじめとするメンバーの皆様が成長できるようしっかりとサポートする事を目標に頑張っていきたいと思っております。1年間、一生懸命な西大寺青年会議所を発信し、自己の成長と地域の発展に尽力することで笑顔をもって12月を迎えたいと思っております。

副理事長として小野理事長をお支えし自分自身も懸命にJC運動に邁進していきますので、1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。



副理事長
谷 政道

本年度、地域創生委員会の担当副理事長を務めさせていただきます、谷政道と申します。何卒よろしくお願い致します。本年度、小野理事長『伝笑』のスローガンの下、担当委員会と共に地域活性化事業を始めとした各種事業に於いて、地域の皆様と共に笑顔でいられるよう、微力では御座いますが努めていく所存です。

一方では川上委員長をはじめとする委員会を全力でサポートしていく所存です。

また、事業を通じて地域の皆様と関わっていく中で、西大寺青年会議所という団体がどのような運動をしているのかをご理解頂くべく、志を持って、帯を引き締めて一年間取り組んでいく所存です。何卒よろしくお願い致します。



専務理事
阿部 哲也

年も明け、2017年度における青年会議所運動も本格的なスタートとなりました。偉大なる諸先輩方が築き上げられてきた56年の歴史に恥じぬよう、一念発起の思いで青年会議所運動に邁進していく所存です。

本年度、初めての理事、それも専務理事という大役を仰せつかりました。これもひとえに日頃からご支援くださいました皆様方の賜物であります。また、青年会議所の使命であります発展・成長の機会をくださいます、感謝申し上げる次第です。責任の重大さに身の引き締まる思いです。LOMの運営が滞りなくできるよう、誠心誠意務めさせていただきます。また、小野理事長をお支えし、委員会、出向するメンバーの状況を常に把握し、組織運営がスムーズに行えるよう努力していきます。

本年度、理事長スローガンは「伝笑 ～やるなら！やらねば！～」です。懸命に運動を行うことで生まれるメンバーの心からの笑顔が、地域や市民の方々に伝わるよう臥薪嘗胆の思いでメンバーの運動を支えてまいります。さらには理事長スローガンの実現が、明るい豊かな社会の実現の一歩になることを信じ、微力ではございますが邁進していく所存です。一年間倍旧のご愛顧と、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



総務委員会 委員長
木村 和明

本年度、総務委員会委員長を務めさせていただきます、木村和明と申します。よろしくお願い致します。新しい年が始まり身の引き締まる思いで理事長スローガンを胸に1年間総務委員会としてメンバーの皆様がJC運動に専念して頂けるよう西大寺青年会議所を支えて行けたらと思っております。

また、本年度は岡山ブロック会長公式訪問3JC合同例会の主管を務めさせていただきます。3年に1度と言う大役をしっかりと務め「伝笑」して行く決意でございます。

何かと至らない点多々あるとは思いますが本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



未来創造委員会 委員長
藤原 辰徳

本年度、未来創造委員会の委員長をお預かりいたします藤原辰徳です。この委員会は青少年の健全育成が担いとなり、特に46年目を迎えます少年はだか祭りへの運営協力は大きな柱となります。この少年はだか祭りですが、本年度は公民館の耐震工事により会場変更が余儀なくされ、それに伴う運営面・設営面が大きく変わってくるのが予想されます。またそのことで事務局を担う私どもの委員会にとりましても、きっと例年になく大きな負担がかかってくることでしょう。然し乍ら、この変更により戸惑うことなく安全な大会を構築できるよう努めて参る所存です。更にいうと、ダーウィンの進化論にあります「最も強いものが生き残るのはなく、その時代に対応し変化してきたものが生き残る」の言葉を借り、もしも「少年はだか祭り」もこの考えの基に過去を振り返ったならば、46年もの伝統を紡いできた本当の意味が深く理解できるものと考えます。だからこそ、私たちは過去の実行委員長に心から敬意を払い、その上で2017年度の環境に即応できる運営・設営は勿論のこと、変化を恐れず勇気をもって改革していくことが「伝笑する」ことだと信じ精進して参ります。

結びに、もちろん委員会の担いはこの事業一つに留まりません。与えられた担いを全うし、己の成長に努め、その結果ブルーエリア地域で生活する子供たちが郷土愛に溢れ、新時代の輝く担い手となれるような運動を展開して参ります。一年間、ご指導ご鞭撻賜りますよう謹んでお願い申し上げます。



未来創造委員会 副委員長
神宝 貴章

本年度、未来創造委員会の副委員長を務めさせていただきます、神宝貴章です。本年は副委員長であると同時に役員としての担いもあるので、今までにない経験が出来ると思うのでしっかりと勉強していくと共に1年間、藤原委員長を支えて行きたいと思っております。1年間どうぞよろしくお願い致します。



地域創生委員会 委員長
川上 正行

本年度、地域創生委員会委員長を務めさせていただきました。川上正行と申します。

本年度小野理事長が掲げられた「伝笑」を胸に1年間JC運動に邁進してまいりたいと思います。

西大寺、瀬戸内エリアには多くの方に知って頂きたい歴史的文化財などがあります。地域の方々及び関係諸団体との関係を大切にし、未来を担う子どもたちに地域の大切さを知ってもらい、再度自らのまちを見つめ直して頂いて笑顔になっていただけるような事業を行いたいと思っております。至らぬ点も多々あると思いますが、1年間どうぞよろしくお願いいたします。



アクティブチェンジ
増強委員会 委員長
田淵 裕賀子

本年度、会員拡大を成功させるべくアクティブチェンジ増強委員会の委員長を拝命いたしました、田淵裕賀子と申します。

初めての委員長ということで不安な反面、楽しみでもございます。初めて岡山ブロック協議会、そして日本青年会議所の委員会に出向させていただいたときも今と同じように不安ではございましたが、懸命に取り組む中でそれが徐々に楽しみに感じるようになりました。今までの経験を活かし、信頼のおける委員会メンバーとともに、LOMのため、地域のために会員拡大という大きな担いを全うする所存です。

真摯に、そして懸命に取り組むことで生まれる笑顔。理事長スローガン「伝笑」の実現に向けて、一年間精一杯尽力していきたいと思っております。まだまだ未熟ではございますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



一月例会

未来創造委員会 委員長
藤原 辰徳

1月11日(水) 19:00~岡山商工会議所西大寺支所3階大会議室にて本年最初の例会を開催いたしました。

理事長挨拶ではメンバーが、より理事長の所信を理解し運動に繋がるよう、例年よりも若干長い時間をお取りし、第57代理事長小野真人君にお話し頂きました。

お話の中ではスローガン『伝笑~やるなら!やらねば!~』に触れられて、その基本理念でもあります~懸命なる取り組みにのみ宿る笑顔を伝えていく~の想いをお話いただきました。特に物事のその本質を知ろうとする力は、その後の個人の成長に大きく関わる。という意味でのお言葉には、正に理事長の幼少時代より培われました反骨精神に裏付けられる『人』に対する深い愛情に触れる事ができ、改めて小野理事長の本年度に懸ける熱い思いを感じることができました。2017年度の小野丸が就航するに当たり今度の例会で見事に旗印を掲げることができました。

その後も、新しいメンバーとなりました柴田雄一郎君の入会式や委員会毎で年間概要等の発表もあり終始、2017年度に対する想いに触れることができる1月例会となりました。いよいよ、この事業を皮切りに2017年度の西大寺青年会議所が走り出します!本当の『笑顔』を見つける旅にでたメンバー一同を一年間、何卒よろしくお願い申し上げます!



新年祝賀会

地域創生委員会 委員長
川上 正行

2017年度新年祝賀会を多くの来賓、特別会員の皆様にご出席頂き西大寺グランドホテルにて開催致しました。2017年度初の対外事業と言う事もあり、委員会メンバー一同団結をして準備を進めて参りました。

小野理事長の力強い挨拶、新会員によるアトラクション等、当日はご迷惑をおかけした点もあったかとは思いますが盛大に終えることが出来た事をご報告致します。

新年祝賀会を担当致しまして、特別会員の皆様からの励ましのお言葉、現役メンバーの協力を頂き、改めて西大寺青年会議所の素晴らしさを実感させて頂きましたこと、また貴重な経験をさせて頂きましてありがとうございました。

本年度スローガン伝笑を胸に笑いを伝えて行けるようメンバー一同邁進して行きたいと思っております。



京都会議

総務委員会 委員長
木村 和明

1月20日から1月22日にかけて京都会議に参加致しました。20日は中国地区協議会会員会議所会議、その後地区ナイトに参加させていただき、21日は総会、セミナーに参加致しました。本年度も各地より大変多くのメンバーの皆様がご参加されており22日の新年式典では青木照護会頭の「日本道」「日本を変えるのはオレたちだ!!」素晴らしい、そして力強い所信をお聞きし今一度、気を引き締め1年間頑張っていこうと思えました。参加したメンバーも必ずやそう思ったことだとも思います。

今回で2回目の参加ですが今年は3日間京都に滞在して今までにない多くの方と懇親をとらせていただき大変貴重な経験をさせていただき自分自身も少しは成長出来たのではと思っております。

また西大寺青年会議所メンバーとは食事、寝床を共にし、時間が取れたことでゆっくりと今まででは出来なかった話などをさせていただきJCに対しての皆様への熱意をひしひと感じ取れたことはまさしく「伝笑」しており今後のJC運動に対して必ずや役立つと考えます。

最後になりますが参加したメンバーが無事に岡山に帰って来れたことに担当委員会といたしましてホッとしております。今年経験したことをLOMのメンバーにしっかりと話をしに行き、来年度はより多くのメンバーが参加していただけるようにしたいです。準備段階より色々経験をさせていただきましてありがとうございました。